

「Fukuoka Art Next」今月のアート（5月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、奇数月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

岸本 爽（きしもと さわ）

2005年福岡県生まれ、糟屋郡在住。九州産業大学写真映像メディア学科の2年生（2025年4月現在）。耳を澄ますと聞こえてくる音と光に惹かれてシャッターを切ること大切にしている。

2024年「Fukuoka Wall Art Project」の最年少入賞者。

■ 作品について



作家名 : 岸本 爽
作品名 : 水光の鳥
(すいこうのとり)
制作年 : 2025年
材質技法 : 写真
サイズ : 39.9×59.6 (cm)

夕暮れの日の光が水面にキラキラ反射し、一羽の鳥が波間にゆらゆら揺られています。

場所は大濠公園ですが、作者は周囲の景観をあえて写さず、池に現れた夕陽の道だけにフォーカスをあてています。作者は、うつろう光の一瞬をとらえることをテーマに作品を制作しており、本作にもその一貫した態度を垣間見ることができるでしょう。

みずみずしい感性がひかる一点となっています。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：ラワンチャイクン、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：rawan@fukuoka-art-museum.jp